

2022年 年頭所感

不二製油株式会社
代表取締役社長
大森 達司

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。旧年中は格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年、年明け早々1都3県に新型コロナウイルス感染症に対する緊急事態宣言が発出され、その後地域を拡大するなど約半年間が緊急事態下だったと言っても過言ではありません。解除後は経済活動の再開が進み、景気の回復も期待されましたが、変異種の出現により再び規制の強化が予想されるなど依然として不透明な状況です。また世界的な原料高、輸送費の高騰による影響は、私共食品業界にとりましても厳しい状況となっております。

お客様には度重なる価格改定のお願いを申し上げ、ご迷惑をおかけしておりますが何卒ご理解のほどお願いいたします。

コロナ禍での「規制ある生活」は期間が長引くことによって常態化し、「新しい生活様式」として受け入れられてきました。意識の変化は行動に伝播し、消費者の食品に対する志向にも変化が見られます。Plant-based Food (PBF) への関心が高まり、さまざまなPBF商品が店頭に並ぶようになりました。もはやPBFは特別なものではなく、多くの食品のなかから選択される食品のひとつとして捉えられつつあります。創業来PBFを製造・販売してきた当社としましても、さらなるおいしさと健康を提供できるPBF開発を進め、お客様・消費者の皆さまに選ばれる製品をお届けしたいと考えております。当社には長年培ってきた植物性油脂と大豆たん白の技術があり、これらの技術を融合させることでPBFでありながら動物性原料のもつコクや旨みを実現することが可能となりました。今年は「次世代の大

豆ミート」など新たな PBF 製品を発表してまいります。

不二製油グループは ESG 経営を推進し、持続可能なパーム油・カカオ豆の調達方針を掲げ、カカオに関しては 2030 年に児童労働ゼロ、森林破壊撲滅の目標を掲げています。当社も、サステナブルカカオの調達を開始することにいたしました。今夏よりお客様とご相談しながら市場に供給していく予定です。アメリカにあるグループ会社の知見を取り入れたプログラムを活用しており、グループシナジーを実現した取り組みです。安定供給を確保するためのサプライチェーン構築には人権、環境などを配慮した社会との共生が重要であり、それは私共の責務であると考えています。

コロナ禍で生活の中のデジタル化が進んだ一方で、緊急事態宣言解除後に対面でのコミュニケーションを求める人流が活発になるなど、生活様式はデジタルとアナログのハイブリッドとなり、それに適したモノやサービスが現れてきました。環境の変化は価値観の変化を生みます。時代、環境に対応し、価値を実感いただける PBF の提供を目指してまいります。

本年も引き続き一層のご指導、ご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。